

○議長（吉田敏郎）

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより令和元年開成町議会6月定例会議第2日目の会議を開きます。

午前9時00分 開議

○議長（吉田敏郎）

本日は、日曜議会を開催しております。

早速、本日の日程に入ります。

日程第1 一般質問を行います。質問の順序は、先に抽せんで決定した順序で行います。それでは、一般質問を行います。持ち時間は1人30分の時間通告制で行います。なお、持ち時間より早く終了しても、お手元に配付してあります時間割表のとおり行います。質問、答弁は、簡潔にお願いをいたします。

2番、佐々木昇議員、どうぞ。

○2番（佐々木昇）

皆様、おはようございます。2番議員、佐々木昇でございます。

本日は、先の通告のとおり、一つの項目について質問させていただきます。高齢者の運転による事故防止策は。

高齢社会が急速に進む中で、高齢者の運転による死亡事故など悲惨な交通事故が相次いで発生しております。事故を起こせば、被害者の命が絶たれるなど重大な被害が生じて遺族を苦しめるとともに、加害者になった高齢者も責任を問われ、本人やその家族も深く傷つくこととなります。

今年の4月に発生した東京池袋の母子死亡事故や5月の千葉県市原市の公園での事故などが報道される中で、加害者家族が加害者の肉体の衰えや運転能力の低下などを感じ、運転を控えるように促していたことが分かります。それは、事故を事前に防ぐことができたということでもあります。

本町でも、自分の運転能力の低下を感じている高齢者の方や、それを心配している家族の方々の話を耳にいたします。運転をされる皆さんは、運転免許の返納も考えてはいるが、返納しない一番の理由として移動の手段が不便になることだと言っております。

本町では、これまで大きな事故の事例はありませんが、今後、事故が発生しないために運転免許を返納しやすい環境の構築が必要と考え、次の事項について質問をいたします。1、運転免許自主返納に関する現状把握は、2、運転免許自主返納促進への見解と取り組みは、3、運転免許自主返納サポート制度の構築を。

以上、よろしくお願ひいたします。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、佐々木議員の御質問にお答えをいたします。

平成から令和にかけて、東京都内などで高齢者が運転する自動車による交通死傷事故が発生をしており、連日のように報道されております。開成町においても、他人事として捉えず、危機感を感じているところであります。

1点目の運転免許自主返納に関する現状把握について、まず、お答えをいたします。

今回、御質問にある運転免許証の自主返納制度は、平成10年4月に道路交通法の一部が改正され制度化されたものであります。警察の統計によりますと、松田警察署管内では、平成29年度に298件、平成30年度中には309件の運転免許の自主返納があったそうです。このうち開成町分としては、平成29年度は37件、平成30年度中は44件の返納件数となっております。

今年4月下旬に東京池袋で発生した母子死亡事故発生後の免許自主返納に関する動向として、全国的な傾向として返納件数が増加されていると報道されておりますが、松田警察署管内でも運転免許証の自主返納者が若干増加していると確認をしております。

次に、2点目の運転免許証自主返納促進への見解と取り組みについて、お答えをいたします。

高齢者の運転免許証の自主返納により、交通事故の減少が見込めるものと考えております。警察のまとめでは、運転免許証を自主返納された方の主な返納理由として、運転の必要がなくなった、身体機能の低下を自覚した、家族や友人の勧めを受けた、このことによるものが大半を占めております。高齢者の運転免許証自主返納について、警察では各種キャンペーン時のチラシ配布、ポスターやホームページによる啓発、高齢者向け交通安全教室や会議開催時などで呼びかけを行っております。町でも、高齢者の運転免許証返納について、警察と連携するなど啓発を進めていきたいと考えております。

一方で、町では、運転免許証の自主返納により交通事故が減ると期待しているところではありますが、御本人や御家族等の事情により車の運転を必要とする高齢者の方もおられることから、高齢者の交通安全対策側面支援の一環として、松田警察署と平成29年度からシルバードライビングスクールを実施しております。昨年度も、11月に松田自動車学校等の協力を得て実施をいたしました。参加した方からは、「講義ではなく教習車を使用した実践的な講習により、普段、体験できない急制動や運転の基本も学び直せた」、また、「踏み間違え防止装置付きの乗用車での体験もできたので、参加して良かった」との声をいただいております。

今後とも、警察や関係機関に協力いただきながら、シルバードライビングスクールの開催など運転免許を保有する高齢者の交通安全対策を充実させ、町民の皆さんの不安を解消していきたいと考えております。

次に、3点目の運転免許証自主返納サポート制度の構築をについて、お答えをいたします。

神奈川県では、平成21年5月から神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会を発足させ、運転免許証を自主返納し運転経歴証明書の交付を受けた方を対象に、

協議会に加盟する企業等から各種割引サービスなどの特典を受けられるサポートを、今、展開をしております。町では、このサポート制度を町民の皆さんに周知していきたいと考えております。

また、町では福祉目的を主に町内巡回バスを2台体制で運行しており、買い物等に出かける際の交通手段として、親子連れや高齢者の方など町民の方々に広く活用していただいております。町内巡回バスの2台目については、篤志家の方からの御寄附によるものでありますが、御寄附をいただいた理由の一つとして、高齢者による事故に心を痛めており、免許を返納された高齢者の方の交通手段になるようにという希望もあり実現したものであります。町でも、この御意思を尊重する形で、免許を自主返納された高齢者の方にぜひ御利用いただきたいと考えております。

高齢者の運転する自動車での交通事故が発生すると、加害者、被害者ともに人生を狂わす重大な事態に陥ってしまいます。町では、今後とも高齢者の運転免許証の自主返納について啓発をしていくとともに、高齢者の交通安全対策への取り組みを進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

ありがとうございます。ただいま町長から一定の答弁をいただきまして、順次、再質問させていただきたいと思っております。

1項目めの運転免許自主返納に関する現状把握については、若干ですけれども増加傾向にあるということまで理解いたしました。2項目めの運転免許自主返納促進への見解と取り組みはと3項目めの運転免許自主返納サポート制度の構築をは、多少関連するものもありますので一緒に質問させていただきます。

まずは、事故防止という観点から、松田警察署、松田自動車学校さんなどの協力を得てドライビングスクールを開催されたということですが、この取り組みの主体ですね、主体はどこなのか、警察なのか町なのか、また、どのように実施されたのか、この内容をもう少し具体的に御説明をお願いしたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

では、佐々木議員の御質問にお答えしたいと思います。

まず、主体といたしましては、町と警察というところで共催という形で実施してございます。それに基づきまして、警察等で主には調整等いただきましたけれども、場所的には松田自動車学校さん、そちらをお借りしたり、あとは自動車メーカーの協力もいただきまして、そういったサポート車の提供等をいただいております。募集については、町で募集しまして当日の実施という運びとなっております。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

ありがとうございます。各自治体、警察や自動車学校、教習所などと連携いたして講習や今ありましたドライビングスクールなど、さまざまな取り組みをしておりますけれども、そんな中で一つ、知っておられるかもしれませんが、ドライブレコーダー、これを活用した交通安全指導という取り組みがございまして。

これは、対象の方の車にドライブレコーダーを1週間設置いたしまして、このドライブレコーダーは貸し出しをされるのですけれども、その後に警察の方が映像を確認いたしまして、最終的に本人や家族の方たちと映像を見ながら運転診断と個別指導ということを行う取り組みということですので。この取り組みは、運転者の癖や悪いところが分かり好評だということで、場合によっては運転免許の返納にもつながってくるということでございます。

私、これ、福井県の参加募集のチラシを見させていただいたのですけれども、ほかにもいくつかの県で取り組んでいたりするのですけれども、神奈川県は松田警察署でちょっと確認させてもらいましたら、現在、こういった取り組みについては、まだ何の話もないということでした。

先ほどちょっと確認させていただきました、こういう取り組み、主体、町と警察ということですので、ぜひ、私、こういうものを県も一緒にやっていくという、先ほど、答弁がございましたけれども、が良いのかなということで、ドライブレコーダー、これを活用した交通安全指導、こちらの取り組み、取り組んでいただきたいということが私から一つと。

ほかにも各自治体でさまざまな取り組み、ほかにもいろいろな取り組みをしているところがあります。ぜひ、そういったことを町として調査・研究をしていただいて、良い取り組みがあれば積極的に県、警察に取り組んでいただくよう、一緒に連携していただいて町で取り組みを考えていただきたいと思っておりますけれども、その辺についての町の考えをお聞かせください。

○議長（吉田敏郎）

町長。

○町長（府川裕一）

今、ドライブレコーダーの事例をお聞きしましたけれども、私ははじめてだったので。これは、開成町が単独でそのようなことを松田警察署と事業化するというよりは、県内、警察、神奈川県全体と、広域の中でそういう一貫のことをやっていくほうが効率的だし、うちの町だけというわけでもありませんので、交通対策は、そういう点においては、神奈川県や松田警察署に、そういう促しや一緒にやっていきたいなというふうに、これからやっていきたいと思っておりますけれども。

一つ、神奈川県も、先ほどサポートでいろいろな企業の皆さんの割引があるのとか、これから、また新たに認知症の検査を受けながら免許の書きかえとかも、いろいろな

ことをやっていますので、そういうときに警察から、認知症になって自主返納することになった場合、その後のサポートを行政でできないかという促しが今、来ております。要は、そこからは今度は福祉の関係になってくると思うのですけれども、そのような形で、できるだけ自主返納を促すとともに、免許証を返せない人もおられるわけですから、それはドライビングスクールほか、今、言われたような実技的な話できちんと交通安全対策ができるように、両面を考えながら、これからやっていきたいと思っております。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

分かりました。町でも、やはり、そういうものも調査・研究して、県に投げかけ等も積極的にやって、県と連携しながらこういう取り組みをやっていていただきたいと思っております。

続きまして、今月、東京都で緊急発進防止装置、これの購入・取り付け費用の補助、これを決定いたしました。また、現在、香川県の先進安全自動車、ASVというのですか、こちらの購入時の補助金の制度を積極的にPRしております。また、国では安全運転サポート車、「サポカー」というものらしいのですけれども、この普及促進に取り組んでいくということで、今後、こういったものの事故防止策みたいなどころでも普及促進、補助金ありきで進んでくると思っておりますけれども、現在、この辺を見たところ、県レベルでの話ということもございまして。

中には市単独で補助、この辺の補助金の制度をとっている自治体もございましてけれども、今後、今、町長から県との関係もお話がありましたけれども、非常に大事になってくると思っておりますけれども、この辺の取り組みについても、開成町でも町民の方たちのことを考えますと非常に大事な取り組みになってくると思っておりますけれども、今後、こういう取り組みが進んでくる中で、開成町、今後の対応、どのように対応を考えていくのか、その辺の現状の考えをお聞かせいただきたいと思っております。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

では、佐々木議員の御質問にお答えしたいと思います。

今、そういったサポート的なもの、後から付加するものですか、あとサポートカーですか、こちらの普及というところございまして、こちらが、つい先日ですが、内閣府でも、そういった未就学児の対策、高齢者運転者の対策ということで、緊急対策的なところの通知を出されております。

その中でも、やはり高齢者に関しましては、高齢者の安全運転を支える対策を加速させるというところございまして、安全運転サポート車の普及ですとか、あとは限定免許制度、そういったものも視野に入れて今後、進めていくということもございまして、そちらの動向を踏まえながら町でも適切に対応していきたいと考えてござい

ます。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

こういった、今、かなりいろいろな取り組み、速い流れの中で進んできておりますので、ぜひ、開成町、調査・研究を十分にさせていただいて対応していただきたいと思っております。

続きまして、先ほど、町長からも答弁がございました神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会、こちらの関係でございませけれども、協議会に加盟している企業などから各種サービス、こちらの特典を受けられるサポートを展開しているということですが、この制度の効果ですね、効果、町としてどのように把握しているのか、また、制度に対しての考えをお聞かせください。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。

こちらにつきましては、先ほど、町長答弁でもございましたが、神奈川県で平成21年にそちらの協議会を発足させたものでございます。内容を見ますと、大きくは各種のホテルですとか、そういったところの割引サービス等が大きくなってございませ。実際、返納して、議員からもございましたが、やはり返納されますと、どうしても交通手段、そちらについて、どうしても問題となってまいりますので、そういった面からとは多少違うのかなというのを感じている部分もございませけれども、こういったところの利点といいますか、そういったところを感じて返納される方もいらっしゃると思いますので、こういった部分をもうちょっと幅広く、そういった交通手段に関するようなところも取り入れていけば、なお一層、よろしいのかなということでは感じているところでございませ。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

効果は、あるという答弁でございませ。

そして、町として、この取り組み、今後周知していくということですが、どのような形で周知していくのか、お伺いしたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。

まず、こちらは、私のほうでホームページを確認したところ、ボリューム的にもございませので、なかなか紙媒体では難しいところもございませので、こういったとこ

ろがあるよというところで、町の広報紙、あるいはホームページからこちらへリンクを張るような形で、まずは周知を図ればよろしいかなと思っています。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

ただいま答弁いただきまして、今、答弁がございました、これ、かなりのボリュームがある取り組み、取り組みというか、加盟店さんがおられるというところで。この周知の仕方なのですけれども、やはり、より多くの開成町の方に運転免許証を返納していただくために、ただ、そちらのホームページとか、そういうところに誘導するというのではなくて、この中から、より開成町の人にとって身近な企業さん、こちらなどをピックアップしながら、この制度を周知していくという方法で私は行っていただきたいと思っているのですけれども。今、紙媒体は、ないということでございますけれども、チラシなどを、ぜひ、つくっていただいて、開成町としての開成町らしいチラシ、そんなものをつくっていただきたいという。

中には、私が見た中で箱根登山バス株式会社さんですか、こちらは65歳以上の方を対象としたバスが半額運賃で乗車できる利用証、「ハーフ65」というのですか、この辺、初回時無料の特典というものもございます。住民の方にとって、より返納促進につながるような方法、こういうことを考えながら神奈川県高齢者運転免許自主返納サポート協議会さんが取り組んでいる、この制度を周知していただきたいと考えておりますけれども、町の考えをお伺いします。

○議長（吉田敏郎）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（橋本健一郎）

お答えしたいと思います。

今、議員がおっしゃられたとおり、そちらの自主返納の促しをしつつ、そういうところを踏まえながら、そういった紙媒体で、チラシですか、そういった形で出せるかどうかについては、今後、内部等で検討していきたいと思っています。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

ぜひ、こちら、開成町の住民さん向けというところでの考えを持って周知に取り組んでいただきたいというふうに、よろしく願いいたします。

続きまして、ちょっと時間配分が、もう最後になるかと思っておりますけれども、やはり免許証自主返納をためらう理由として、移動手段、こちらが不便になるということも多く話を聞いております。答弁で町の巡回バス、こちらの紹介がございましたけれども、これも町として大きな取り組みだと私も認識はしております。特に、私、これ、いろいろ調べたのですけれども、いろいろな自治体の取り組みなどを調べましたら、コミュニティーバス、巡回バス、無料券を配付するなどということもかなりの自治体

で取り組んでおりますけれども、開成町、もう最初から無料ということで、この辺も大きなところだと思っておりますので、ぜひ、この辺も、巡回バス、さらにPRしていただいて、免許を持っている方々へ周知して、周知というか、PRしていただきたいと考えております。

そして、免許を持っている方は、町外、こちらへも気軽に行けるという考えを持っておりますので、このあたりを考える中でタクシー、バス、こちらのチケットなど割引的なもの、こういう制度構築も一つ考えられても良いのかなと考えているのですが、この辺、町の考えをお聞かせください。

○議長（吉田敏郎）

福祉課長。

○福祉課長（渡邊雅彦）

ただいま巡回バス、それから福祉の関係の部分でのお話がありました。福祉タクシーのチケットという部分でございます。現在、住民税非課税の身体障がい者などの重度障がい者の障がいをお持ちの方につきまして、福祉タクシーの利用助成という制度を実施しております。タクシー利用運賃の初乗り運賃、こちらを補助という形でさせていただきます。

今、議員おっしゃられましたとおり、こちらの巡回バスにつきましては、御寄附いただいたところもございまして、御寄附いただいた理由としても、ぜひ、免許を返された方の交通手段にさせていただきたいという御意思でございました。

タクシー券ということでの御提案でございますが、このタクシー券につきまして、ほかの市町村でもそういった制度をとっているところもございます。ただ、もともと免許を持っていらっしゃらない方とのバランスという部分もございますので、このあたりにつきましては慎重に対応させていただきたいなと考えております。

以上でございます。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

今、課長から、今後、慎重に対応ということでございますけれども、もうちょっと具体的に、どのような対応をするのか、お聞かせいただきたいと思います。

○議長（吉田敏郎）

福祉課長。

○福祉課長（渡邊雅彦）

制度的なものという部分でも、ほかの先進市町村等もございますけれども、果たして、費用対効果ですとか、その辺の効果の部分、そのあたりの検証ですとか、その辺の研究等もさせていただいた中で考えていきたい、このあたりを調査させていただきたいなと考えております。

以上でございます。

○議長（吉田敏郎）

佐々木議員。

○2番（佐々木昇）

分かりました。そうですね、高齢者の事故の問題でございますけれども、私、今回、この質問の通告をさせていただいてから、その後も事故が起こったり東京都の取り組みなどさまざまな動きがございました。今後もいろいろな動きがあると思いますので、町として注意していただきながら、しっかりと留意していただきながら適切な対応、こちらを今後、ぜひ、考えていただきたいと。

先ほど、言いましたけれども、事故防止という観点の考え方も今後、動きがかなり出てくるようなところもございます。その辺を町もしっかりと調査・研究していただいて、できるだけ早く迅速な対応も求められると思いますので、ぜひ、その辺を今後、町として対応していただくことをお願いいたしまして、ちょっと早いですがけれども私の質問を終わらせていただきます。

○議長（吉田敏郎）

これで佐々木議員の一般質問を終了といたします。